

智花 「えふびーえす…
かあ…。」

ミソクラスト

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

初投稿作品です。温かい目で見守ってください。

投稿は3日に1回程度かと思われまます。ご了承ください。

この作品はロウきゅーぶ！のキャラクター達が織り成す青春FPS群像劇です（大嘘）

オリキャラは出さないと思います。

原作ブレイカーというか、原作の流れ一切出てきませんが、それでもいい。という方だけお読みください。

それ以外の方はブラウザバック推奨です。

扱うFPS作品としては○FとDESTINYが多くなると思います。COD民の方は本当にすみません。

KU○キッズではないですが、ネタで出すかもしれません。

ではよろしくお願いしますm () m

目次

智花 「えふびーえすつてなあに？」

1

智花 「おともだち…できるかな？」

6

智花 「すーぱーすきる？」

—

10

智花「えふびーえすってなあに？」

（放課後）

真帆（以下真）「ふあゝあゝ：今日もやつと学校終わったー！今日はバスけないしみんなうち来る！」

紗季（以下紗）「あんた最近授業中にあくびしすぎよ。体調管理は部活が休みでもしっかりやりなさい。」

ひなた（以下ひ）「お。ひなも眠いのです。だから今日はごめんなさい。」

愛莉（以下愛）「えへへ。真帆ちゃん誘ってくれてありがとう。でも今日はやりたいことがあるから、また今度遊びに行くね？」

智花（以下智）「誘ってくれてありがとう。でも、今日はお茶のお稽古があるから、また今度みんなで遊ぼう。」

真「なんだよ。しよーがないな。サキはどーする？」

紗「あんたと違って私は忙しいのよ。また今度にしましょう。」

真「サキもかよ。じゃあ今日は帰ってえふびーえすでもしようかな。」

紗ひ愛「「ギクツ!!」」

智「ねえ。えふびーえすってなあに？」

真「お!?!もつかんもキヨミある!?!あのなー。簡単に言うのだなー。戦争するゲームかな。」

紗「もう。それじゃ伝わらないでしょ。仕方ないなあ。智花。FPSっていうのはFirst Person Shooterって言って、一人称視点で銃を撃つたりするゲームのことよ」

智「一人称ってなんなの？」

紗「例えばマ○オとかだと、操作キャラを自分が俯瞰しながら操作するでしょ。でも一人称視点だと、そのキャラからの視点になるのよ。」

智「そうなんだー。でも、子供は銃を撃っちゃいけないんじゃないの?」

愛「それは…ゲームだから大丈夫だよ!」

真「なんだく。サキもアイリーンもくわしいじゃん!なんでなんだく?」

紗「!?!これくらい常識よ。」

愛「わ、わたしは、お兄ちゃんがやってるのを見たから!」

智「えふびーえす…かあ…」

ひ「おー。智花もやる?ひなもやってるよ。」

智「え!?!ひなたもやってるんだあ。じゃあわたしも今日パソコンで調べてみるね。」

ひ「おー。それがいい。」

く湊家く

忍「智花。今日の稽古は終わりだ。お風呂に入って、ある程度の時間には寝なさい。」

智「はい。ありがとうございました」

携帯「We, re unripe fighter♪」

智「あ、メールだ。誰からだろう? ふええ! すばるさんからだ!」

昴メール「智花こんばんは。突然で悪いけど、親父とNBA観戦ツアーに2週間行くことになった。だから悪いけど2週間朝の練習と部活はお休みにしてください。ミホ姉には伝えておいたから、明日みんなに伝えておいてください。あ、でもうちの母さんは智花が朝ご飯食べに来てくれるだけでも嬉しいって言ってたぞ。じゃあ、また2週間後にね。お土産買ってくるからね。愛してるぞ(キリツ)」

智「ふえええ! すばるふあん…。でも、部活お休みなのか…。何しようかな…。」

花織(以下花)「智花。お風呂できたわよく。先入っちゃいなさい。あら? なんでそんなに顔が赤いの? 熱かしら…。」

智「ち、ち、違うよお母さん! もう、わかったから! 大丈夫だから!」

花「あら? そう? じゃあ昴君によろしくね。」

智「?!?!? だ、だだから! 違うって!」

花「はいはい。」

く入浴(◎REC)く

智「寝るにはまだ早いかな…。あ、じゃあ今日真帆が言ってたえふぴーえすつてやつを調べてみよう！」

パソコンカタカタ

智「えーと…ばとる〇いーるど？こーる〇ぶでゆーてい？でいす〇いにー？いろいろあるんだなあ…。どれかYouTubeで見てもみよう。じゃあ…DESTROYつと…。」

パソコン「暗黒がくくく」

智「すごい綺麗な映像だなあ…このB〇つてやつも調べてみよう…。わあ、プレイ動画がたくさんだ！この<JSよだピンの神凸砂>つて動画すごい再生数だなあ。見てみよう」

パソコン(よだピン)「おー。今日は、凸砂でやつて行きたいと思います。あんまり喋らないけど、よろしくね。お兄ちゃん。くくく(中略)くくくおー。今日もキルレ3越えしました。みんなまたねくばいばーい。」

智「なんか凄すぎて何が起こってるかわからなかった…。でも、この手元の動画見る限りわたしと同じくらいの年齢の子なのかな…すごいなあ。あ、もう寝る時間だ。明日

5 智花「えふびーえすってなあに？」

また調べてみよう。」

智花「おともだち：できるかな？」

（翌日）

智「あのね。昨日帰ってからえふびーえすについて調べたんだけど、YouTubeでいろいろな動画見てみたよ！よだピンさんって人がすごく上手だったんだー！」

真紗愛「ニピクツ！」

真「へー、そ、そうなんだ。前レ〇プされたからチーターってファンメ送ったら手元動画晒してきた人だ……」

紗「で、智花もやってみる？FPS。」

智「うーん……うちにPS4もパソコンもあるからやってみようかな……」

愛「どのゲームをやるの？智花ちゃんと一緒にやってみたいなあ」

智「んー……とりあえず今日また調べて、気になったやつをネットで買うよ」

ひ「なにに。なんのはなしですか。ひなもいれてください。」

真「もっかんがどのFPSをやるかって話！ヒナはどーおもう？」

ひ「おう。ひなはDESKTOPYがいいと思う。」

智「あ、昨日動画見たやつだ。わかった。今日注文してみるね」

真「その必要はない！こんなこともあろうかと、すべてのソフトを2本買っていたのだ！では、これをもつかんにあげよう！」

愛「わー。智花ちゃんよかったね！」

智「ええ！そんな、悪いよく。」

紗「こうなったら真帆は譲らないから、一応受け取っておいた方がいいと思うわ…。」

智「ありがとう真帆。今日やってみるね！」

真「おう！やってみたら感想聞かせてね！」

智「ありがとう。あ、みんな話すの忘れてたけど、昴さんはアメリカにNBA観戦ツアーに行くから2週間部活お休みにするって。」

ひ「おう。お兄ちゃんうらやましい。ひなもしっかりお休みします。（今日もJSG

MAHOMAHOとかいう人ボロクソにしよ）」

愛「えへへ。自主トレしながら、適度に休もうかな。（トレーニング終わったら即FP

S）」

紗「仕方ないか…。私も新作お好み焼きの研究でもしますか。（FPSやり放題じゃないの）」

真「おうし！帰ったらまたFPSしよー！」

竹中（以下竹）「真帆、お前FPSなんてやるのか？ちなみになんのタイトルだ？」

真「お！ナツヒもFPSやるのか？じゃあ今日家でやろーよ！」

竹「いいけど…タイトルを教えろよ。」

真「んー…基本的にはB○だけど、一通りなんでも揃ってるよ！」

竹「じゃあCODでlonerやろうぜ。ボロクソにしてやるよ。」

真「なにをー！のぞむところだ！ナツヒ、早く行くぞ！みんなまた明日ねーノシ」

智紗愛ひ「ばいばい…」

紗「じゃあ、私たちも帰りましょうか。」

湊家

智「これでよし。あ、なんか始まった…。」

ゴースト（以下ゴ）「ガーディアンくくくくくく」

智「うわあー…綺麗な画質だなあ…。でも人がいなさそう…うわ。いきなり真っ暗になつた！…あ、ここに銃がある！いきなり敵が出てきそうだよ…」

智「わわわ！いきなりなんか出てきた！あれ？なんか黄色い数字が出て敵が倒れちゃつた…どうしたんだろう？（ちなみにDESTEI○Yではダメージ表示が出ます。プリセットならHSの場合は黄色、BSの場合は白でダメージ表記され、すぐにHSかBSがわかるようになっていきます。）」

智「あれ？なんか青いモヤモヤを纏った敵が出てきた…撃つてもダメージ入らないな

…。あ！シールドなのかな…。ええ…。とグレネード！L2！」

ドガン

智「ふー。やっとクリアだよ…。次は対人戦のクルーシブルってやつをやってみようかな…。」

智花「すーぱーすきる?」

保存日時：2016年05月03日（火） 16:01

智「クルーシブルにもたくさんモードがあるんだなあ…なんだろうこれ…? コントロール?（一般的なドミネーション）まずこれが一番左にあるからこれからやってみようかな!」ポチッ!

智「わわ!なんか船が飛んでいっちゃったよお。始まるのかな?」

ーコントロール。ブラボーチーム!ー

智「あ、これは「ビー」チームじゃなくて、「ブラボー」チームっていうんだ…。あ、相手はアルファチームだ。どうするんだろう…。とりあえず、この「JS6」Bus t y」さんについていこう。」

JS6 | Bus t yのVC（以下VC）「あ、あー。聞こえてますか? みなさん。とりあえず落ち着いてCを制圧しましょう。6人のうち2人はBに向かってください。」

智「わわ!なんか声が聞こえる…。あ、ぼいすちやつとっていう機能なんだ。ボイスチェンジャーを使ってるからかな? ワイドショーで違法行為を取材されてモザイクがかかってる人みたいな声になってる。あ、このCっていう旗の近くにいと制圧できる

んだ。あ、ポイント入った!」

V C 「C 制圧お疲れ様です。私スナなんで、みなさんBに攻めてください。私はAからくる敵を防ぎます。では、解散で」

智「あれ? みんなBの方に行っちゃった。私はこの人について行くって決めたし…どうしようかな? あ! 敵が来た! えつと…うーん。えい!」グレ足元にポイツ

ドガン

智「あれ?あれ?なんかダメメージ受けたのかな…? でも敵はJ S 6 | B u s t yさんが倒してくれたんだ。わあ。強いなあ。」

V C 「おい。トモってやつ。聞こえてるか? 聞こえてるなら挨拶しろ」

智「あれ? 私のことかな? 挨拶…どうやってやるんだろう?」

V C 「まさか初心者か? まあ、レベル4ならありえるか。左の十字ボタン押してみろ。どれでもいい。」

智「この人さっきの感じからいきなり強くなったなあ。私に怒ってるのかな? とりあえず上ボタン押してみよう。」

I t o m o | h a s e g a w a が挨拶をしているー

V C 「初心者か。なら邪魔だからすつこんでろ。邪魔すんじゃねえよ。相手にはB L O k o n o m i y a k i がいるんだからな。あいつにスナで勝つのは至難の技だぜ。」

テメエがチームに迷惑かけんじやねえよ」

智「えええ！怒られちゃったよお。どうしようかな…。とりあえずスナイパーに持ち替えて…。」

「BL」Okonomiyakiが5連続キル！

智「さつき言つてた人本当に強いんだなあ…あ、敵が来た！えいっ！（スナでHS）あれ？…当たったのかな？あ、ポイント入ってる！しかもBL」Okonomiyakiさん倒したんだ！やったー！」

「VC」おい。お前やるじやねえか。さつきと全然押し上げろ」

智「押し上げる…？…って前に行けばいいのかな？わわ、敵が2人いる！AR（オートライフル…他のゲームのアサルトとほぼ同じ）に持ち替えて、えい！あ、やった！2人とも倒せた！次はどうす…」グシャツ

「ガーディアンが倒されたー」

智「あれ!?倒されちゃった…あんなところから!?BL」Okonomiyakiさんか…。これ倒されたらどうすればいいんだろう？あ、□ボタンかな。」リスポーン

「VC」おい。B取られてんぞ！早くとり返せ！」

智「あ、スナイパースキル？が溜まったみたい…。スナイパーで行こうかな。わわ！敵が2人もいる。えい！えい！やった！2人ともHSだ！あれ？撃たれてる!?あ、BL」

Okonomiyakiさんだ!まず隠れて…うわわわ、グレネード投げ込んだよお。上手だなあ。ジャンプで回避して、どこらへんにいるだろうな…ここは一か八か飛び出して撃とう!」

VC「BL」Okonomiyakiすげースコップ覗いてるぞ、光ってる。とりあえず飛び出すなら、ジャンプしながら飛び出せ」

智「ジャンプしながら…。そうすると狙いにくいからか。よし、ジャンプ!そして…えい! (ジャンプしながらスナでHS) やった!倒した!」

ーへびーウエポンはもうすぐだ!ー

VC「スーパ―溜まつてるやつは相手のへびー潰しに行け!スーパ―で殲滅しろ!」

智「へびーってなんだろう…?とりあえずJS6さんは相手の方に走って行ったから、私もそっちに行こうかな!」

VC「やばい!あいつらへびーのところにドーンウオードのバリア張ってやがる!tomom!私がスーパ―であるバリア消し去るから、お前はスーパ―でできるだけ多くの敵を倒せ!」

智「なんか…紫色の透明なバリアみたいなのにみんな入ってる…とりあえずJS6さんが言う通りに待ってようかな」

VC「よし。じゃあ私がノヴァボム投げたらすぐスーパ―発動して、ノヴァボム着弾

したらすぐ3人倒せ！いくぞ！」

キューン…ドガン！

智「よし！スーパ―発動！3人を…1. 2. 3！よし！3人倒した！あとはオートライフルで残りを…あれ？もうJS6さんが全員倒してくれたみたい！」

Itomo「hasegawaが5連続キル！」

VC「おい。お前初心者なのにやるじゃん！ナイスだぞ！ここまで攻め込むと、次敵がCに湧くから、こっちのヘビーも取っちゃおう」

ーヘビーウエポンが届いたぞ！ー

智「やった！マシンガン？の弾もらえた！A「制圧つと…あ、相手がC取ろうとしてる！けど向こうにいる味方もヘビー持ってるしなあ。勝ち目ないだろうなあ。」

VC「おItomo！3点取りはやめろ！相手のリスポーン位置固定できなくなるから！Aからすぐ離れてCに戻れ！」

智「ふえ？取れば取るほどいいんじゃないのかなあ…？でもJS6さんが言うならやめておこう。」

くそれから時は流れく

智「やったー！勝ったー！終わってみれば20030VS13075の圧勝だね！」

VC「tomo！フレンド申請送るから、よかったら承認してね！」

智「フレンド申請ってなんだろう…?あ、メッセージが来た!あれ?2つも来てる…?
?1つは、JS6さんからで、もう1つは、BL|Okonomiyakiさんからだ
!なんだろう…?」

BL|Okonomiyaki「あなたレベルの割に強いよね。チートですか?もし
そうなら通報させていただきますが、そのような感じが見受けられませんでした。この
先また戦うことがあればよろしくお願いします。また、よかつたらフレンド登録してお
いてください。」

智「んー…とこれは褒められてるのかな?私の成績は…25キル7デス!2位だ!J
S6は40キル5デスかあ…BLさんは…32キル6デス!負けたチームなのにすご
いなあ…。あ、り、が、と、う、ご、ざ、い、ま、すつと!フレンド登録もしておこ
う!」

智「ふー疲れた!また明日学校でみんなに話してみよう!じゃあ、今日は寝ようかな
!」